KYOWA KIRIN

平成28年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年10月28日

上場会社名　協和発酵キリン株式会社　　上場取引所　東

コード番号　4151　　ＵＲＬ　http://www.kyowa-kirin.co.jp

代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）花井　陳雄

問合せ先責任者　（役職名）執行役員 コーポレートコミュニケーション部長　（氏名）諸富　滋　ＴＥＬ　03-5205-7206

四半期報告書提出予定日　平成28年11月７日　　配当支払開始予定日　－

四半期決算補足説明資料作成の有無：　有

四半期決算説明会開催の有無　：　有　（機関投資家、証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成28年12月期第３四半期の連結業績（平成28年１月１日～平成28年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第３四半期	257,761	△5.6	26,831	△34.4	22,623	△38.3	16,469	△36.8
27年12月期第３四半期	272,943	14.2	40,882	55.6	36,680	54.1	26,044	116.4

（注）包括利益 28年12月期第３四半期　△10,357百万円（－%）　27年12月期第３四半期　22,219百万円（46.8%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第３四半期	30.10	30.07
27年12月期第３四半期	47.59	47.55

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第３四半期	677,211	590,912	87.2
27年12月期	720,764	614,858	85.2

（参考）自己資本　28年12月期第３四半期　590,383百万円　27年12月期　614,427百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	－	12.50	－	12.50	25.00
28年12月期	－	12.50	－		
28年12月期（予想）				12.50	25.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成28年12月期の連結業績予想（平成28年１月１日～平成28年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　期	344,000	△5.6	32,000	△26.9	26,000	△33.7	18,000	△39.5	32.89

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　有
（注）詳細は、添付資料４ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年12月期３Ｑ	576,483,555株	27年12月期	576,483,555株
②　期末自己株式数	28年12月期３Ｑ	29,259,966株	27年12月期	29,256,749株
③　期中平均株式数（四半期累計）	28年12月期３Ｑ	547,225,223株	27年12月期３Ｑ	547,299,121株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
(1) 経営成績に関する説明 …… 2
(2) 財政状態に関する説明 …… 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
(継続企業の前提に関する注記) …… 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 9
(セグメント情報等) …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間（平成28年１月１日から９月30日までの９か月間）の売上高は2,577億円（前年同期比5.6％減）、営業利益は268億円（同34.4％減）、経常利益は226億円（同38.3％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は164億円（同36.8％減）となりました。なお、2016-2020年中期経営計画の経営目標に掲げるコア営業利益（営業利益＋のれん償却額＋持分法投資損益）は314億円（同33.6％減）となりました。

◎　売上高及び営業利益は、新製品の伸長があったものの、円高影響や技術収入の減少、研究開発費の増加等により減収減益となりました。

◎　経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益も、減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

医薬事業

①　業績

医薬事業の売上高は、1,964億円（前年同期比5.9％減）となり、営業利益は220億円（同37.0％減）となりました。

◎　日本の売上高は、４月に実施された薬価基準引下げの影響等がありましたが、新製品の伸長等により前年同期を上回りました。

・主力製品の持続型赤血球造血刺激因子製剤「ネスプ」や二次性副甲状腺機能亢進症治療剤「レグパラ」は堅調に推移しました。

・持続型Ｇ－ＣＳＦ製剤「ジーラスタ」、パーキンソン病治療剤「ノウリアスト」、２型糖尿病治療剤「オングリザ」及び尋常性乾癬治療剤「ドボベット」等の新製品は順調に伸長しました。

・抗アレルギー剤「アレロック」、高血圧症・狭心症治療剤「コニール」、好中球減少症治療剤「グラン」等の長期収載品は、後発医薬品の浸透等の影響を受けて売上高が減少しました。

・乾癬治療剤「ルミセフ」を９月に発売しました。

◎　海外の売上高は、円高影響や技術収入の減少等により前年同期を下回りました。

・欧州及び米州では、癌疼痛治療剤「Abstral」及び「PecFent」等が伸長したものの、技術収入の減少等により売上高は前年同期を下回りました。

・アジアでは、中国や韓国を中心に堅調に推移したものの、円高影響もあり売上高は前年同期を下回りました。

②　研究開発

当社では、抗体技術を核にした最先端のバイオテクノロジーを駆使し、腎、がん、免疫・アレルギー、中枢神経の各カテゴリーを研究開発の中心に据え、資源を効率的に投入することにより、新たな医療価値の創造と創薬の更なるスピードアップを目指しております。

当第３四半期連結累計期間における主な後期開発品の開発状況は次のとおりであります。

腎カテゴリー

・日本においてカルシウム受容体作動薬ＫＨＫ7580の血液透析施行中の二次性副甲状腺機能亢進症を対象とした第Ⅲ相臨床試験を実施中です。

・日本においてＲＴＡ 402の２型糖尿病を合併する慢性腎臓病を対象とした第Ⅱ相臨床試験を実施中です。

・中国において持続型赤血球造血刺激因子製剤ＫＲＮ321（日本製品名「ネスプ」）の透析施行中の腎性貧血を効能・効果とする承認申請を２月に取り下げました。なお、再申請の時期は未定です。

がんカテゴリー

・日本においてｃ－Ｍｅｔ阻害剤ＡＲＱ 197のソラフェニブ治療歴を有するｃ－Ｍｅｔ高発現の切除不能肝細胞癌を対象とした第Ⅲ相臨床試験を実施中です。

・抗ＣＣＲ４ヒト化抗体ＫＷ－0761（日本製品名「ポテリジオ」）は、皮膚Ｔ細胞性リンパ腫を対象とした第Ⅲ相臨床試験を米国、欧州及び日本等において、成人Ｔ細胞白血病リンパ腫を対象とした第Ⅱ相臨床試験を米国及び欧州等において、それぞれ実施中です。

免疫・アレルギーカテゴリー

・日本において抗ＩＬ－17受容体Ａ完全ヒト抗体「ルミセフ」は既存治療で効果不十分な尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症を効能・効果とする承認を７月に取得し、９月に発売しました。

・抗ＩＬ－５受容体ヒト化抗体ＫＨＫ4563の欧米等における権利の導出先であるアストラゼネカ社が実施している国際共同試験計画の一環として、ＫＨＫ4563の気管支喘息を対象とした第Ⅲ相臨床試験を日本及び韓国において、慢性閉塞性肺疾患を対象とした第Ⅲ相臨床試験を日本において、それぞれ実施中です。

・日本においてゼリア新薬工業㈱との共同開発である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」の用法・用量追加の承認申請を７月に行いました。

中枢神経カテゴリー

・北米及び欧州等においてＫＷ－6002（日本製品名「ノウリアスト」）のパーキンソン病を対象とした第Ⅲ相臨床試験を実施中です。

その他

・抗線維芽細胞増殖因子23完全ヒト抗体ＫＲＮ23は、成人Ｘ染色体遺伝性低リン血症を対象とした国際共同第Ⅲ相臨床試験を北米、欧州、日本及び韓国において、小児Ｘ染色体遺伝性低リン血症を対象とした第Ⅱ相臨床試験を米国及び欧州において、腫瘍性骨軟化症又は表皮母斑症候群を対象とした第Ⅱ相臨床試験を米国において、それぞれ実施中です。また、日本及び韓国において腫瘍性骨軟化症又は表皮母斑症候群を対象とした第Ⅱ相臨床試験を６月に開始しました。

・中国においてトロンボポエチン受容体作動薬ＡＭＧ531（日本製品名「ロミプレート」）の慢性特発性（免疫性）血小板減少性紫斑病を対象とした第Ⅲ相臨床試験を実施中です。また、日本及び韓国において再生不良性貧血を対象とした第Ⅱ／Ⅲ相臨床試験を６月に開始しました。

・日本において遺伝子組換えアンチトロンビン製剤「アコアラン」の1800ＩＵ製剤の承認申請を９月に行いました。

バイオケミカル事業

バイオケミカル事業の売上高は、636億円（前年同期比5.1％減）となり、営業利益は47億円（同26.2％減）となりました。

◎　日本の売上高は、前年同期を下回りました。

・医薬品原薬の一部製品での価格下落や前年同期に集中出荷があった影響等により前年同期を下回りました。

・通信販売事業は、「オルニチン」のほか新製品「アルギニンEX」が好調で、前年同期を上回りました。

◎　海外の売上高は、米州・欧州が堅調に推移したものの、円高影響等により前年同期を下回りました。

・米州では、米国で全国展開する健食チェーンのサプリメントシリーズに採用されたCognizin （シチコリン）の販売数量が増加したほか、輸液用アミノ酸が伸長しました。

・欧州では、前年５月の香粧品原料事業譲渡の影響があるものの輸液用・工業原料用アミノ酸は好調に推移しました。

・アジアでは、一部製品の競争激化による価格下落の影響で前年同期を下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

◎　総資産は、前連結会計年度末に比べ435億円減少し、6,772億円となりました。

・流動資産は、親会社への短期貸付金等の増加がありましたが、受取手形及び売掛金やたな卸資産等の減少により、前連結会計年度末に比べ124億円減少し、3,119億円となりました。

・固定資産は、為替影響や減価償却によるのれん及び販売権等の減少により、前連結会計年度末に比べ310億円減少し、3,652億円となりました。

◎　負債は、未払金や未払法人税等の減少により、前連結会計年度末に比べ196億円減少し、862億円となりました。

◎　純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上がありましたが、配当金の支払いに加え、円高による為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末に比べ239億円減少し、5,909億円となりました。

この結果、当第３四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.0ポイント上昇し、87.2％となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年７月21日に公表した連結業績予想から修正は行っておりません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成27年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成28年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,236	11,822
受取手形及び売掛金	106,829	96,270
商品及び製品	61,965	53,966
仕掛品	12,363	10,087
原材料及び貯蔵品	10,476	12,621
繰延税金資産	11,147	10,380
短期貸付金	96,104	107,874
未収入金	7,692	4,253
その他	4,818	4,914
貸倒引当金	△202	△238
流動資産合計	324,433	311,953
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	141,227	139,555
減価償却累計額	△91,810	△89,275
建物及び構築物（純額）	49,417	50,279
機械装置及び運搬具	165,623	161,784
減価償却累計額	△134,994	△133,392
機械装置及び運搬具（純額）	30,629	28,392
土地	46,685	45,916
建設仮勘定	11,339	13,913
その他	51,124	49,460
減価償却累計額	△42,152	△40,276
その他（純額）	8,972	9,184
有形固定資産合計	147,043	147,686
無形固定資産		
のれん	155,851	135,367
販売権	56,233	47,784
その他	722	554
無形固定資産合計	212,807	183,706
投資その他の資産		
投資有価証券	14,043	10,726
退職給付に係る資産	6,964	8,710
繰延税金資産	10,355	9,310
その他	5,311	5,220
貸倒引当金	△194	△103
投資その他の資産合計	36,480	33,864
固定資産合計	396,331	365,257
資産合計	720,764	677,211

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成27年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成28年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,086	17,764
短期借入金	4,840	4,840
未払金	39,866	29,736
未払法人税等	11,830	5,289
売上割戻引当金	2,097	1,480
ポイント引当金	238	246
賞与引当金	427	3,856
その他	6,436	7,115
流動負債合計	84,823	70,328
固定負債		
繰延税金負債	12,092	8,688
退職給付に係る負債	1,883	1,747
役員退職慰労引当金	114	110
工場再編損失引当金	3,203	3,005
資産除去債務	404	501
その他	3,385	1,916
固定負債合計	21,082	15,969
負債合計	105,906	86,298
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,745	26,745
資本剰余金	509,127	509,128
利益剰余金	85,997	88,787
自己株式	△26,881	△26,887
株主資本合計	594,989	597,772
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,979	1,851
為替換算調整勘定	18,819	△7,248
退職給付に係る調整累計額	△2,360	△1,991
その他の包括利益累計額合計	19,438	△7,389
新株予約権	430	529
純資産合計	614,858	590,912
負債純資産合計	720,764	677,211

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第３四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第３四半期連結累計期間 (自　平成27年１月１日 至　平成27年９月30日)	当第３四半期連結累計期間 (自　平成28年１月１日 至　平成28年９月30日)
売上高	272,943	257,761
売上原価	102,523	101,927
売上総利益	170,420	155,834
販売費及び一般管理費		
研究開発費	36,171	38,809
のれん償却額	10,092	9,583
その他	83,274	80,609
販売費及び一般管理費合計	129,537	129,002
営業利益	40,882	26,831
営業外収益		
受取利息	328	362
受取配当金	209	272
為替差益	－	401
デリバティブ評価益	1,541	－
その他	697	883
営業外収益合計	2,776	1,920
営業外費用		
支払利息	60	32
為替差損	2,250	－
デリバティブ評価損	－	457
持分法による投資損失	3,600	4,937
固定資産処分損	570	483
その他	497	216
営業外費用合計	6,979	6,128
経常利益	36,680	22,623
特別利益		
固定資産売却益	375	2,901
債務免除益	－	1,334
投資有価証券売却益	6,561	256
受取補償金	619	－
特別利益合計	7,556	4,491
特別損失		
減損損失	3,346	233
火災による損失	209	－
特別損失合計	3,555	233
税金等調整前四半期純利益	40,681	26,882
法人税等	14,636	10,412
四半期純利益	26,044	16,469
親会社株主に帰属する四半期純利益	26,044	16,469

（四半期連結包括利益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成27年１月１日 至　平成27年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成28年１月１日 至　平成28年９月30日）
四半期純利益	26,044	16,469
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△498	△1,128
為替換算調整勘定	△3,635	△25,961
退職給付に係る調整額	308	368
持分法適用会社に対する持分相当額	－	△107
その他の包括利益合計	△3,824	△26,827
四半期包括利益	22,219	△10,357
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,219	△10,357
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成27年１月１日　至　平成27年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	医薬	バイオケミカル	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	208,122	64,821	272,943	－	272,943
セグメント間の内部売上高	646	2,282	2,928	△2,928	－
計	208,768	67,103	275,871	△2,928	272,943
セグメント利益	34,956	6,431	41,388	△505	40,882

注１．セグメント利益の調整額△505百万円は、セグメント間取引消去であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成28年１月１日　至　平成28年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	医薬	バイオケミカル	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	195,857	61,903	257,761	－	257,761
セグメント間の内部売上高	582	1,765	2,347	△2,347	－
計	196,439	63,668	260,108	△2,347	257,761
セグメント利益	22,039	4,747	26,786	44	26,831

注１．セグメント利益の調整額44百万円は、セグメント間取引消去であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。